

新潟青陵学会第4回学術集会 ワークショップのご案内

日時：11月5日（土）13:15～14:30

会場：新潟青陵大学

新潟青陵学会では、看護 - 福祉 - 心理という実践的な3領域を含む本学会の学際的な特徴を活かし、昨年に引き続きワークショップを開催いたします。昨年度は看護領域から「明日から使える臨床技術～褥瘡予防のための体圧分散方法～」を提供いただきましたが、本年度は福祉と心理の立場より下記の実践的なテーマを挙げていただき、2つのワークショップを開催する運びとなりました。

本ワークショップは会員のみご参加いただけます。当日、9:00～9:45に受付にて参加を申し受けますが、希望者多数の場合は先着順にて人数を制限させていただく場合があります。本ワークショップは、普段は他領域の実践に関わる機会が少ない方にも開かれた場として提供したいと考えております。学生会員の方はもとより、他領域の方の積極的な参加をお待ちしております。

ワークショップA （6301ゼミ室）

『スクールソーシャルワークの役割－実践事例から期待されるSSWの役割の検討』

コーディネーター： 花澤 佳代 （福祉心理学科 准教授）

概要：平成20年度文部科学省事業として全国でスクールソーシャルワーカー（＝SSW）配置の動きとなった。札幌市での実践事例から、「児童から」「家庭から」「学校から」SSWに期待される役割と、SSWの果たすべき役割を検討したい。

ワークショップB （6205ゼミ室）

『看護、福祉、臨床心理とのコラボレーションへの提言』

コーディネーター： 橘 玲子 （大学院臨床心理学研究科 教授）

概要：看護福祉心理学部と言う名称の学部のもとで、共通科目の授業はありますが、患者さんに提供する援助についての理解はどのようになされているのでしょうか。病院に入院している患者さんへの援助モデルについて、皆さんと考えてみたいと思います。例えば事例検討会のための事例の出し方、討論の進め方、研究報告の仕方など具体的なところで話題提供に努めてみたいと思っています。

新潟青陵学会第4回学術集会企画委員会

2011conf@n-seiryo.ac.jp